

# 平成16年度第4回北海道ブロック協議会 第3回北海道代協理事会 議事録

平成17年1月14日(金)pm1:00～5:00

於:北海道厚生年金会館

出席者

相談役	山本好宏	札幌	常任理事	羽田武史	帯広	理事	小谷田正彦	旭川
監事	富谷哲夫	札幌	常任理事	鈴木雅裕	小樽	理事	山吉行雄	釧路
本部常任委員	高梨重勝	函館	常任理事	富田明久	苫小牧	企画環境	林昌宏	旭川
会長	向出明彦	札幌	常任理事	小山田勝	室蘭	組織	多和康司	千歳
副会長	阿部 實	札幌	常任理事	長手英記	千歳	地球環境	梅基伸男	札幌
副会長	石岡憲義	函館	常任理事	森 優	旭川	広報	坂本和正	札幌
副会長	長谷部幹夫	旭川	常任理事	長尾忠正	釧路	年金基金	見上峰夫	札幌
副会長	長谷川 勇	帯広	理事	木下裕章	小樽	教育	寿時康司	札幌
副会長	山本 宏	釧路	理事	大西 勝	札幌			
専務理事	町野泰明	札幌	理事	高松勝好	千歳	事務局長	末原正二	札幌
常任理事	松浦則雄	函館	理事	山崎善仁	札幌	事務局員	藤田和代	札幌



司会 専務理事 町野泰明

1、会長挨拶(向出明彦)

●保険開業界において保険会社の寡占化が進むにつれ、保険会社の代理店対応にも施策が見えてくる。その中に、委託契約書には、代理店の自立が記載されているが、裏を返せば保険会社の監護を後退させるネグレクトであり、これからは、アイデンティティーを持ち、コンプライアンスを遵守し、自立ができていく代理店が生き残っていくのではないかと思う。

●代協の存在として、弱いものの力を結集し、保険会社に対して協力と支援を粘り強く要請していくことも必要と思う。

## 2、<報告事項>

[I]日本代協常任理事会報告(高梨重勝)

●資料参照

●その他、意見として

- ① 富田氏＝企画環境委員会があるが、コンプライアンス委員会はなぜ必要なのか。消費者を保護するため、代理店活動のルール作りをする委員会。
- ② 羽田氏＝北海道代協にもコンプライアンス委員会を設けてはどうか。
- ③ 石岡氏＝教育委員が本部のコンプライアンス委員会に出席し北海道代協に持ち帰り勉強会を設けたらどうか。
- ④ 松浦氏＝台風の支払いについて、代理店の損害率ポイントを考慮してもらおうよう保険会社に要請して欲しい。



## [Ⅱ]各委員会報告

### ① 企画環境委員会(林 昌宏)

● 1/17に本部委員会が開かれるので、次回報告したい。

### ② 教育委員会(寿時康司)

● 本部教育委員会が1/7, 8開催された。

● 第5期認定保険代理士の名簿。資料参照

● 保険大学第8期受講生については、北海道代協は30名以上の受講生を募集したい。後日各支部に割り振りしたい。

● 保険大学セミナー、更新セミナーの終了時間を午後5時までとしたい。また、2回目更新セミナーについては午後3時までとする。

● 講師の定年制を設け、70歳とする。

● 支部セミナーの報告書が届いていない支部があるので、報告して欲しい。

● 17年度「人材育成セミナー」が北海道代協にて開催する。

● 第8期保険大学の募集ツールは前年度並みに要請する。ポスター200枚、募集要綱500部。



### ③ 組織委員会(田和康司)



● 2/4に本部会議があり、前回よりの報告は無い。

3、<審議事項>

[ I ] 会員増強について

釧路⇒イ、未加入の代理店をセミナー等に来てもらい、代理店同士の交流を深めるようにしている。

函館⇒イ、未加入の代理店に会員が声かけをするようにしている。

代協のイメージとして圧力団体のように受け止めている代理店もあるので、説得、情宣に努めている。総会の出席率が悪いので、次年度には対策を考えたい。

帯広⇒イ、損保Jの会員が少ない。ニッセイ、同和の会員は今は0であるが今後3会員が見込める。代協の将来像、何を求めて活動するかも含めて幅広く議論する場を考えている。

旭川⇒イ、会費を2万から3万円(法人、個人一律)に値上げし、郵便為替から日信販による集金代行システムに変えた結果、16年度分については12月末にて集金が完了した。

室蘭⇒イ、情熱を盛って若い人を勧誘している。苫小牧⇒イ、年度末までに3名くらいは勧誘できる。

口、入会している会員の加入意識のアンケートをとってみたいかどうか

千歳⇒イ、代理店の資質の向上を図る活動をしている。

小樽⇒イ、1万円から2万円へ会費の値上げをしたため、会員の減少を見ている。

口、代協加入について、代理店の間に否定的な雰囲気がある。

札幌⇒イ、青年部会の立ち上げにて、新会員を勧誘したい。

口、第2回目の会員懇談会にて「個人情報保護」をとり上げ、未加入の代理店に出席を求めている。

## [Ⅱ]金融機関代理店向けの保険商品について

(長谷部幹夫)

資料参照

● 今までも代協としては拡大の阻止運動をしてきたが、現状としては窓販の拡大基調にある。今後においては拡大阻止の運動はするが、圧力募集との弊害防止策の対応も取り上げていき、粘り強く交渉を重ねていく。

● 北海道代協としては本部会議に取り上げてもらうよう要請する。



## [Ⅲ]日本商工会議所にて

[個人情報漏洩賠償責任保険]集団扱い販売について

(山本 宏)

## 資料参照

- 1、については要望程度にする。
- 2、については時期(中間法人法の制定)を見て対応するが、論点が異なっているようにも思える。
- 「中間法人」については今後においても勉強しておく必要がある。

## 閉会の辞(石岡憲義)

●会員の増強運動とともに、会員のレベル向上も図っていくべき。認定保険代理士が営業活動に誇りを持っていける業界になるよう期待したい。

## 下期北海道代協会員増強目標数

	4月	12月	現在の増減数	増会員目標数	年度末会員数
札幌	108	106	-2	15	121(+13)
室蘭	21	21	0	2	2(+2)
旭川	92	78	-14	5	83(-9)
小樽	32	23	-9	2	25(-7)
苫小牧	34	33	-1	3	36(+2)
千歳	18	16	-2	2	18
函館	41	51	+10	3	54(+12)
釧路	72	68	-4	4	72
帯広	45	47	+2	3	50(+5)
合計	463	443	-20	39	482(+18)